

鷹巣出張所ニュース



7

第189号

当出張所では、北秋田市今泉～大館市比内町扇田の米代川の35.9km・支川小猿部川1.8kmを管理しています

水防活動は恐ろしい水害から 安全な暮らしを守ります。

北秋田市

水防訓練



水防機関の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図り、もって地域住民の安全を保持することを目的として行っています。

水防活動とは

突然洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを「水防活動」と言います。
水防活動は、自らの地域を自らの手で守るという基本的な考え方をもとに昔から実施されています。

日頃の訓練

北秋田市水防団による水防訓練は6月5日に北秋田市の鷹巣橋右岸下流の河川敷にて行われ、団員など約160人が参加しました。
訓練では、積み土のう工法、シート張り工法、月の輪工法の3工法及び浸水域の救助活動が行われました。



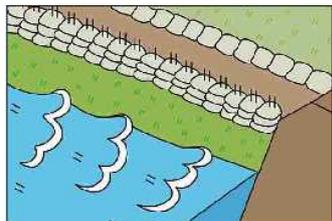
また、能代河川国道事務所として災害対策車（排水ポンプ車、照明車）の稼働実演及び出水状況や事業紹介のパネル展示を行いました。



みなさん
お疲れ様でした。

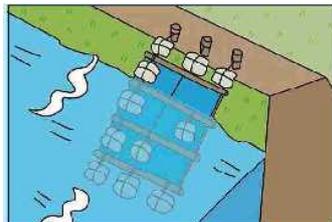
水防工法

状況に応じて最適な水防工法を実施します。堤防に決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めるのが目的です。



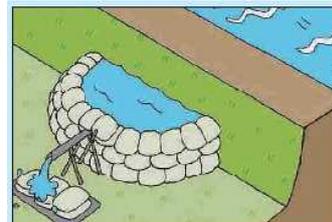
積み土のう
工法

堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を越えるのを防ぐ工法。



シート張り
工法

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防水シートを張って堤防を守ります。



月の輪
工法

堤防の裏側に水が漏れ出した時、半円型に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位の差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。

重要水防箇所合同巡視



北秋田市長

事務所長

鷹巣出張所長

能代河川国道事務所では、本格的な出水期を前に、洪水時に特に注意して監視・巡視が必要な箇所（重要水防箇所）の合同巡視を行っています。
市長をはじめ、河川管理者（国）及び県・市・地元水防団などの水防関係者が一堂に会し、迅速かつ適切な水防活動実施のためあらかじめ水防上重要な箇所の確認をし、情報共有しました。

編集後記

出張所の観音竹に花が咲いていました！調べてみると、数十年に一度しか咲かない珍しい花のようです！
今まで気にして見ていなかったのに、ふと見た時に発見!!
存在を必死にアピールしていたような気がして、何か良いことがあるのを期待しています♪(は)

